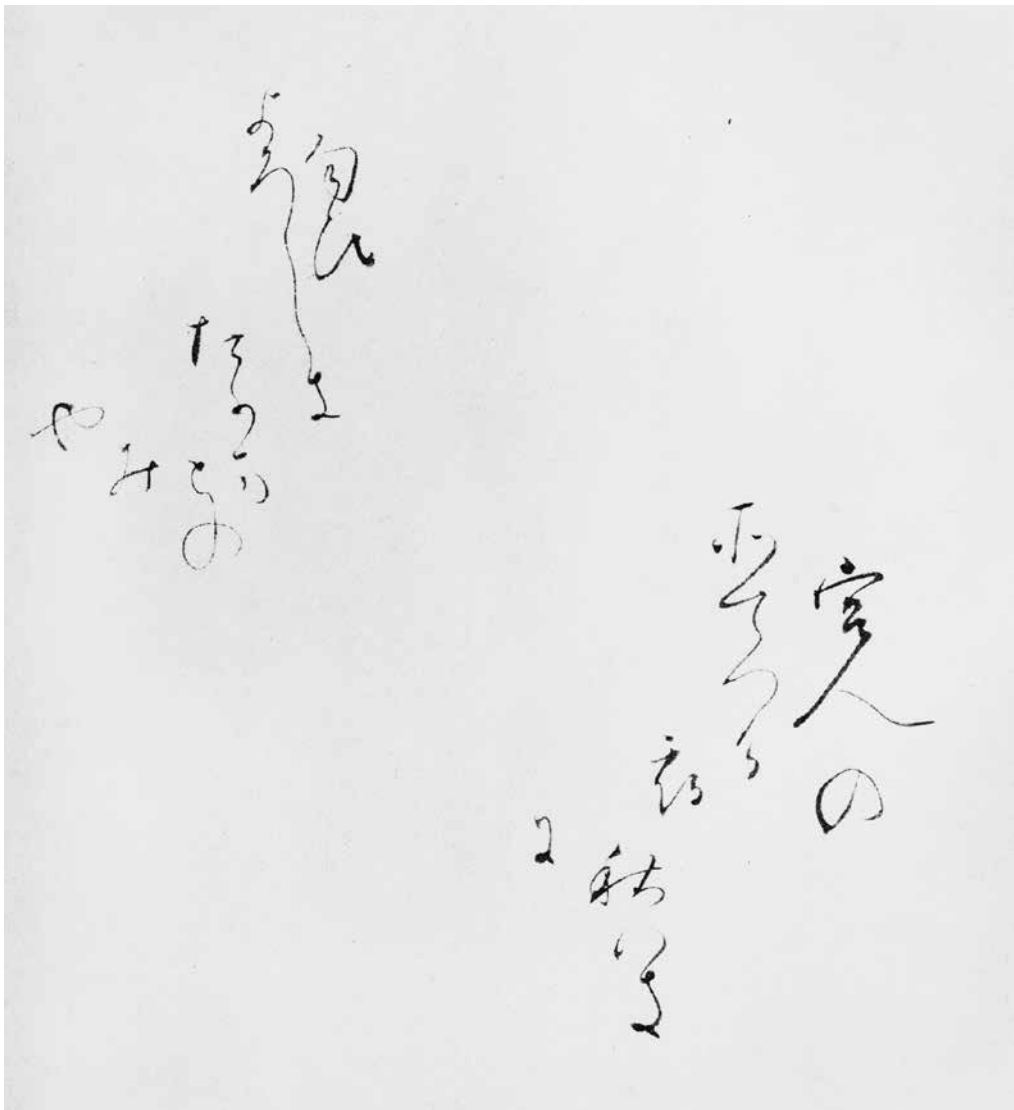


規定課題

(会友・準会友) 月例課題
(八段〜六段) 昇格・昇段課題

(原寸)



※左の『とよのとし』の「宮人の」から「とのみや」までをペンで臨書しなさい。※用紙はよこにして使用する。

〈原文〉

みやびと
宮人の
所てつ介
衣
秋八支
爾

〈読み〉

みやびと
宮人の袖付け衣
秋萩にほひ宜しき
高円の宮

句ひ
よろし支
た可万
や
み
との

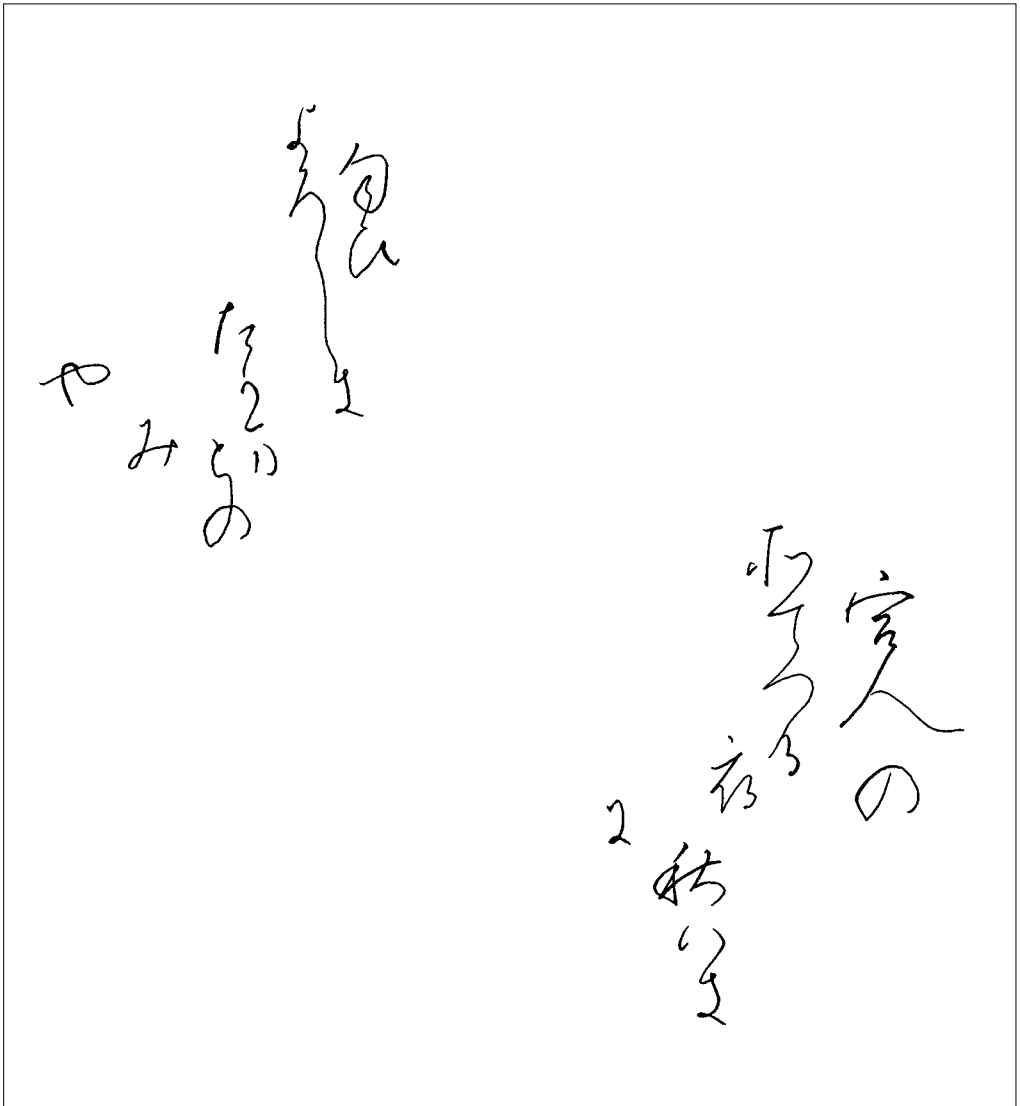
〈大意〉

大宮人の袖付け衣が秋萩色に照り映えて
美しい高円の離宮であることよ。

(参考手本は次ページ)

〈出典〉

尾上柴舟(二八七六年〜一九五七年)
『とよのとし』より
万葉集卷第二十 四三二五

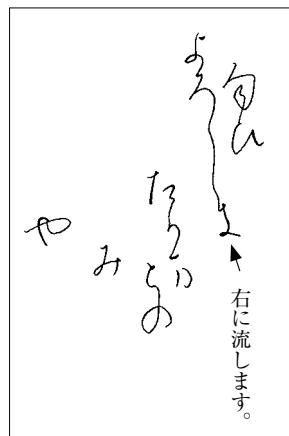


宮田 須美子 臨

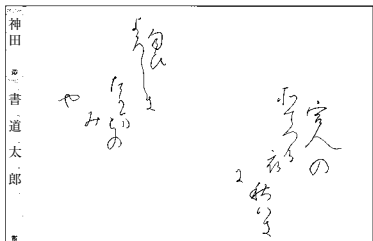
(つけペン)

〈解説〉

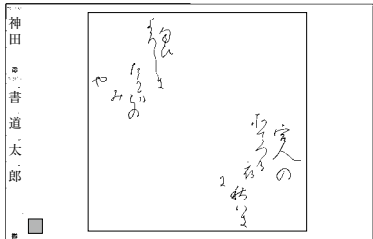
○書き始めを下に、後半を上にと散らし書きになっていきます。それぞれが長くなりすぎないようにまじめましよう。



用紙の使い方



枠なしで書く方法



枠をつけて書く方法

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色 用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

◆次号課題予告◆大唐三蔵聖教序 太宗文皇帝製 蓋聞二儀有象顯 覆載以含生四時
(課題は変更することがあります。)

専攻コース

規定課題

(五段〜初段II昇段課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書

(つけペン)

〈読み〉

ながく庄内平野を転々としながらも、わたしはその裏ともいへば、肘折の溪谷にわけ入るまで、月山がなげ月の山と呼ばれるかを知りませんでした。

〈出典〉

森 敦『月山』

〈解説〉

文中の溪の最後は天でなくて夫で、横画からつき出ること。間違いやすいですから注意しましょう。旧字体は内・轉・溪になります。

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

旧字体	筆写体
内	
轉	轉
溪	

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン（ボールペンは不可）、インクは黒色
用紙 ペンの力用紙A型（B型も可）

◆次号課題予告◆

小樽の港のまわりを三方から取り巻いている山々の雑木の葉は、十月の末ころ、寒い夜が一夜二夜すぎると鮮明な赤と黄に変わった。

(課題は変更することがあります。)

専攻コース

規定課題

(1級 || 昇段課題 || 2級 ~ 5級 || 月例課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春 書

(つけペン)

秋来ぬと目にはさわ

かに見えぬども風の

音にぞ驚かれぬる

〔読み〕 秋来ぬと目にはさわかに見えぬども風の音にぞ驚かれぬる
 〔出典〕 藤原敏行(生年不詳)九〇一年または九〇七年
 〔大意〕 秋が来たと目にははっきり見えないけれど、耳に聞く風の音には、さわやかにそれと感じられる。

〔解説〕 漢字は、かなよりも大きく書きます。中心を通し、筆脈に留意して伸びやかに書いてください。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン(ボールペンは不可)、インクは黒色
 用紙 ペンの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

〈解説〉

〈いろいろな書きぶり〉

風 風 風 驚 驚 驚
 音 音 音 馬 上

〈連綿の注意点〉

※次の一画まで力をぬかず続ける
 止まらない
 止まる
 止まる
 なめらかに
 右よりに

◆次号課題予告◆ 馬追虫の髭のそよるに來る秋はまなこを閉じて想ひ見るべし(課題は変更することがあります。)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

小島 鳳 洽 書

(デスクペン)

原文 悠然見南山 意與秋氣高
読み 悠然として南山を見る 意秋氣と高し
作者 蘇軾(一〇三七〜一一〇二)

大意 悠然として南山を望見する、その人柄は秋
気の如く清くして高い。

解説 今月は五字句を二行に配しました。(結
体の似ている字が横に並ぶことを避け
ました。)天地、左右に余白をつけて書
きましよう。

ペン先の弾力と指先の動きをしなやかに
にすることが大切です。

遅速はつけますが、楷行どちらもなる
べくゆつくり丁寧に運筆しましょう。

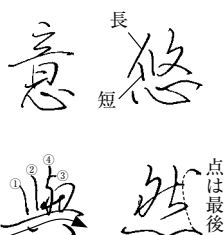
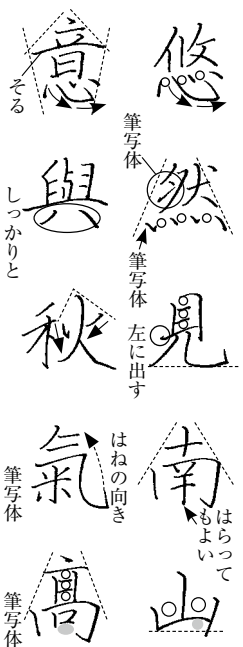
用具 万年筆またはデスクペン(ボールペンは不
可)、インクは黒色
用紙 べんの力用紙G型

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って
出品してください。



〈解説〉

点画の分間に注意
(細部の○印は省略)



◆次号課題予告◆ 荒城秋草満 古樹野藤垂 (課題は変更することがあります。)

基礎コース

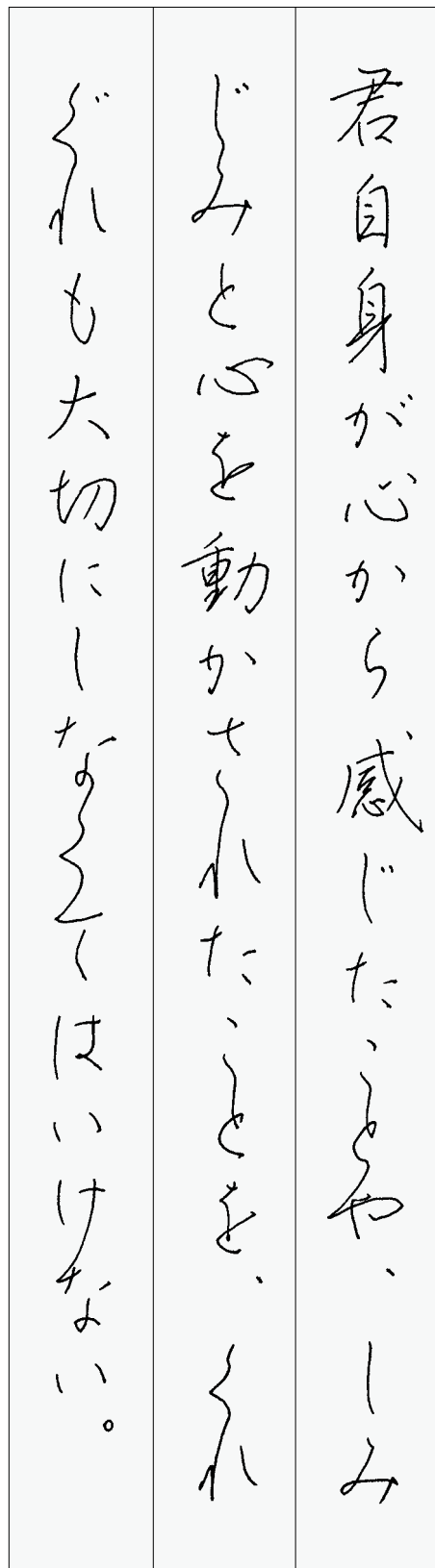
規定課題

(五段〜初段II昇段課題)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

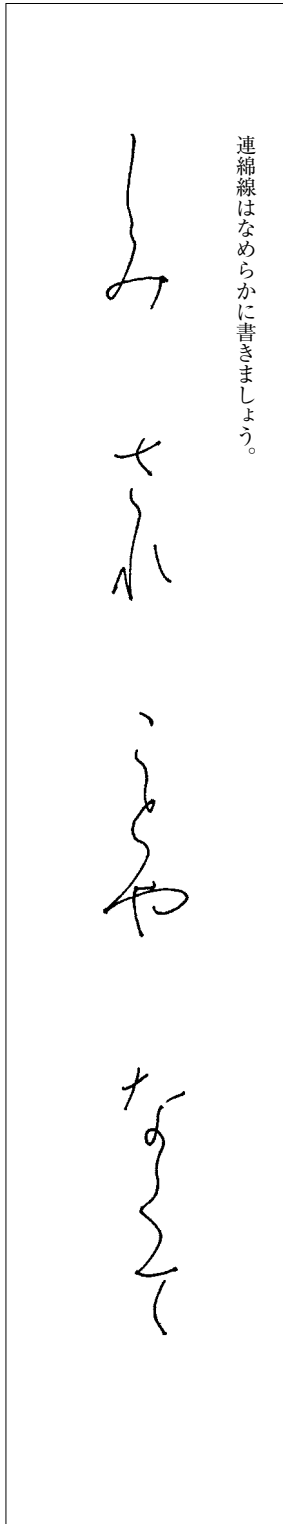
宮田 須美子 書

(デスクペン)



〈解説〉

連綿線はなめらかに書きましよう。



〈読み〉 君自身が心から感じたことや、しみじみと心を動かされたことを、くれぐれも大切にしましよ。

〈出典〉 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』

〈解説〉 ひら仮名が多いので二字・三字連綿で書きました。方向を定めて急ぎすぎないように書きました。

用具 つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可 インクは黒色
用紙 ペンの力用紙3行書き

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

◆次号課題予告◆ 智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。(課題は変更することがあります。)

基礎コース

規定課題

(1級〜5級昇段課題)
(2級〜5級月例課題)

※下の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

加藤 玲子 書 (デスタクペン)

住み慣れれば、どんな所でも自分
 の住んでいゝ所が一番よい。

↑ここに貼る↑
月別・バーコード券

<p>点をつなぐ 住み慣れれば、どんな所でも自分</p> <p>最後の画をつなぐ</p>	<p>丸くしない の住んでいゝ所が一番よい。</p> <p>やわらかにつなぐ</p> <p>とめる</p>
---------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

〈読み〉 住み慣れれば、どんな所でも自分の住んでいる所が一番よい。 〈出典〉 『故事ことわざ・慣用句辞典』（ことわざ 住めば都）
 〈解説〉 漢字はひらがなよりやや大きく、背の高さもそれぞれ不揃いにならないようまとめましょう。

※バーコード出品券と月別出品券④の2枚を貼って出品してください。

用具 つけペン、万年筆またはデスタクペン、ボールペンも可 インクは黒色 用紙 ペンの力用紙2行書き

◆次号課題予告◆ あることに夢中になっていると他を顧みず道理を失う。(課題は変更することがあります。)

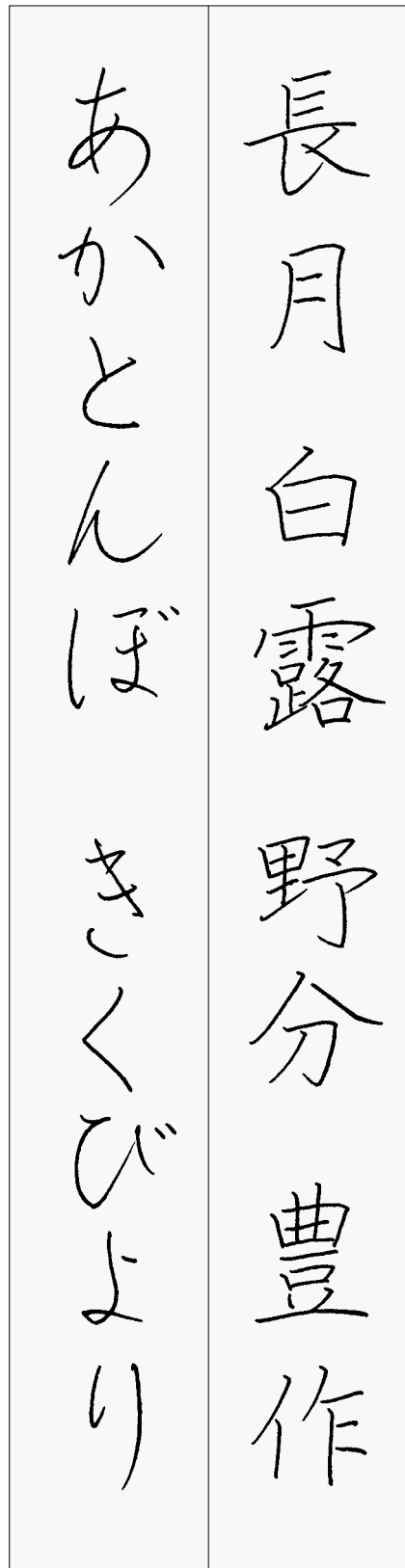
基礎コース

規定課題

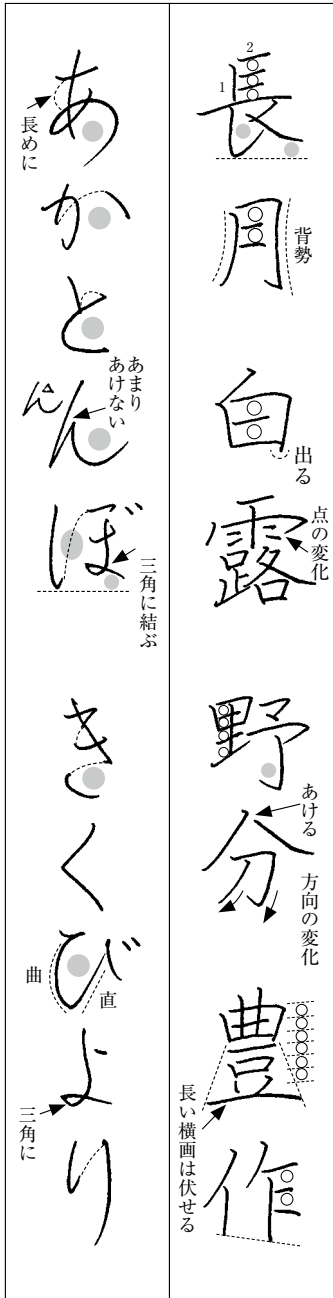
(6級〜10級)

※左の手本を参考に、自分の書きぶりで書きなさい。

福原 溪 春書 (つけペン)



〈解説〉



〔読み〕

長月白露野分豊作 あかとんぼ きくびより

〔出典〕

『最新俳句歳時記』

〔解説〕

「長月」：陰曆九月の異称。「白露」：二十四節気の一つ。白く露の結び始める頃で、九月七日頃。「野分」：秋の暴風で、野の草を吹き分ける意。主として台風のこと。「菊日和」：秋、菊の花が咲く頃の好天気。※ペンを大きく動かし、伸びやかに書きましょう。

用具

つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペンも可 インクは黒色

用紙

ペンの力用紙2行書き

※バーコード出品券と月別出品券(A)の2枚を貼って出品してください。

◆次号課題予告◆ 神無月 刈田 新蕎麦 きりたんぼ うんどうかい (課題は変更することがあります。)

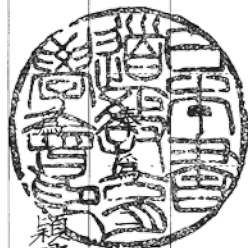
随意課題

写経研究室 基礎・専攻コース（全員）

左の「延命十句観音経」か前ページの「般若心経」のどちらかを選んで清書し出品してください。

草薙北望先生書

延命十句観音経
 観世音南無佛与佛有因与佛
 有縁佛法僧縁常楽我浄朝念
 観世音暮念観世音念念従心
 起念念不離心



百萬卷寫經發願成就

穎興院殿犀水啓道大居士靈位證大菩提也

住所 東京都千代田区西神田二ノ二二三

氏名 山本太郎敬寫

※納経のしかた、用紙用具については前ページと同じです。

※バーコード出品券と月別出品券②の2枚を貼って出品してください。

〈読み〉

延命十句観音経

観世音 南無佛 与佛有因 与佛有縁

佛法僧縁 常楽我浄

朝念観世音 暮念観世音 念念従心起

念念不離心

〈大意〉

観世音 仏に南無したてまつる 仏と因

あり 仏と縁あり 仏と法と僧との縁に

よつて 常・楽・我・浄の四徳を得ん

朝な朝なに観世音を念じ夕な夕なに観世

音を念じ 念々、心より起こり 念々、

心を離れず。

法 (この形に) 僧 (平たく) 常 (大きく) 楽 (長く) 我 (この向きに) 浄 (右と平たく) 朝 (月の形に) 念 (心の形と) 暮 (夕の形に) 念 (心の形に) 起 (右に下げる) 不 (上向き) 離 (下へ出して) 従 (この縦画は) 心 (左から) 走としてもよい